



令和3年1月28日

第 63 号

さくほ

ほ

2021①

議会だより



シトラスリボンプロジェクト

シトラスリボンプロジェクトの
ホームページはこちら



発行：佐久穂町議会
議長：高橋 康德
編集：議会広報編集調査特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町569
TEL.0267-86-2556
印刷：キクハラインク有限会社

さくほ議会
Facebookもチェック

さくほ議会 検索



12月定例会

議長新年のあいさつ……………P2

議員発議 第9号……………P2

佐久穂町奨学金貸与条例の一部改正

一般質問

- ・住みやすい町づくりを
- ・自然園花木園の管理体制は

他…P4～9

予算・決算審議について

審議の結果、現行方式（二委員会制）の方が、細部まで検討ができ、審議が深まるなどの意見があり、現行方式に決定しました。

尚、別の委員会への質問事項について、別の委員会の委員に質問を依頼できることを確認し、又12月定例会の委員会審査では別の委員会審査をそれぞれ大勢の委員が傍聴しました。

別の委員会審査を傍聴し、『資料、案件に対する質疑応答、修正が必要ならば修正案を提出、討論、（修正案・原案）採決、少数意見』の詳細が解り、採決への理解が深まったと思われます。

議長・副議長・委員の任期について

「現在の正副議長2年任期は、そもそも申し合わせ事項であり法的根拠がなく、正副議長任期は4年とする。委員任期については2年毎の改選とし、再任は妨げないとする。」という意見で一致しました。

地方自治法第103条2項の「議長及び副議長の任期は、議員の任期による」との規定に照らしても、「任期は申し合わせで2年」ということは、あくまで正副議長が自主的に特定の時期に辞職する結果であり、形式的には合法であります。

議会選出監査委員について

地方自治法の改正（平成30年4月1日施行）により、議会選出監査委員を選出しなくてもよいようになりました。

議選監査委員を巡る問題点としてはかねてから、「中立性の困難さ」「専門性の欠如」「議員活動との両立の難しさ」「執行機関の中に議員が入るというガバナンス（統治・支配・管理）上の原理的な問題」等が指摘されてきたところでもあります。

幅広く行政を監視する議員は、財務会計においても実効性ある監査を期待できる（幅広い視点での監査）等の意見があり、議論した上で、議会選出の監査委員の存続に決定しました。

今後も、議会改革協議事項について議員全員で議論を深め、住民の声を行政に生かせるよう議会の仕組みを変えていく取り組みを行ってまいります。

以上

12月定例会

町長招集あいさつ
アラカルト情報

佐久穂小学校・中学校がシトラスリボンプロジェクトに取り組んでいる。

台風19号災害での警戒避難に関する住民アンケートの結果、「家族や御近所、知人からの声かけで避難行動を取ることができた」が5市町村全体で15%だったのに対し、佐久穂町では41%と高い割合であった。

佐久穂町消防団が9月4日に防災功労者に対する内閣総理大臣表彰を、10月26日には長野県知事からの感謝状の贈呈があった。

第203回国会衆議院総務委員会にて佐久穂町の災害時住民支え合いマップが好事例として紹介された。

請願が採択された一ノ淵橋付近の堤防かさ上げ等改良工事が11月末に完了した。

11月3日、午後6時30分から12市町で復興の花火を一齐に打ち上げた。

11月1日からがんばろう佐久穂応援チケットの販売が始まり、11月末で約58%、2万5千冊ほどが販売された。

がんばろう佐久穂応援チケットの無償交付については対象者25%が未だ受けとっていない。

10月2日から都内で佐久穂町産オータムキュートを限定100パック販売。3日には完売した。

コロナ禍で、グリーンシーズンの八千穂高原の観光客が減少したが、駒出池キャンプ場については昨年を上回る利用者があった。

佐久平クリーンセンターが12月1日から本格稼働となった。

千曲病院での新型コロナウイルス抗原定量検査は、9月18日から11月24日までで73名となった。

※12月3日時点での内容です。

新型コロナウイルス感染症第三波が猛威を振るう中、この原稿を書きました。

昨年の経済活動の低迷は、かつてのリーマンショックを上回るものとなっていました。12月定例会では、国の人事院勧告に伴う議員・町特別職・一般職に係る報酬給与の減額のための条例改正案並びに補正予算案が承認されました。

「新しい生活習慣」を求められる中、地域や職場において「自粛」「我慢」の一年でした。一日も早くワクチンが普及し、治療薬の開発がされ、経済や地域活動が以前のように活性化し、気兼ねなく皆様とコミュニケーションを図ることができるよう期待したいと思っています。

また、関係条例が可決されましたが本年4月には、町長・議会議員選挙が予定されています。少子高齢化や地域の活性化などの諸問題について、議論を深める年となることを期待しています。

本年が町民の皆様にとって明るく健やかな年であり、佐久穂町がますます発展しますことをご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

議長 新年のあいさつ

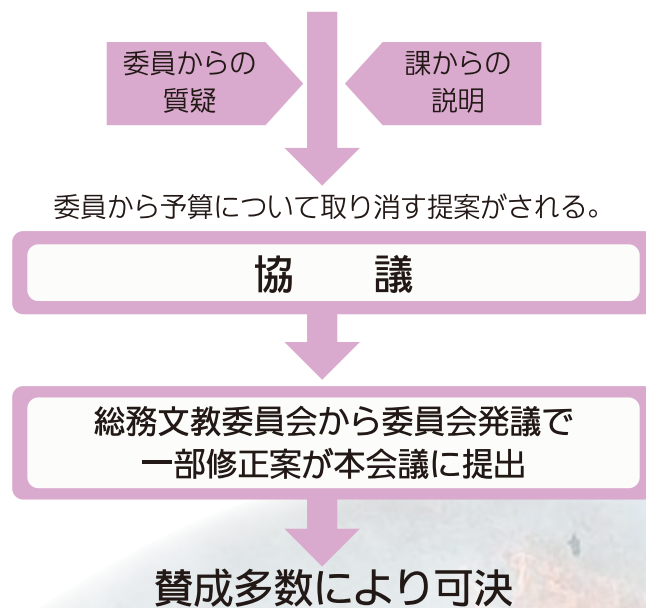


高橋 康徳
議長

議案第74号 一般会計補正予算

12月10日 総務文教委員会
総合政策課所管分の審査にて

歳出 (款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費
(目) 5 企画財政費の中
(節) 13 使用料及び賃借料のうち
使用料 33,000円



発議第9号

佐久穂町奨学金貸与条例

第11条の改正
奨学金の償還の免除を明文化
(特に佐久穂町内居住者の規定の明文化)

委員からの質疑
提出議員の説明
こども課長の参考意見

総務文教委員会にて賛成多数を得る。

11月臨時会

生涯学習課による
不適切な予算執行がある

議案第67号
町長 15% 給与減額
副町長 10% 給与減額
教育長 10% 給与減額

一般会計補正
人件費 減額
図書館運営事業 増額

令和2年 第7回（12月）佐久穂町議会定例会 採決結果一覧表

採決日：令和2年12月16日

議員氏名	西部	島崎	須田	石井	出浦	井出	高見	佐々木	倉澤	倉澤	小宮山	高見	採決結果
議員番号	元和	規子	良子	正行	修身	正臣	見研二	木正雄	陽一	治貴	雅則	澤春野	
議案第74号 修正案	○	■	○	○	○	○	■	■	○	○	○	○	賛成多数で可決
発議第9号	○	■	○	○	○	○	■	○	○	○	○	○	賛成多数で可決

※「○」は賛成、「■」は反対 議長（高橋康徳）は採決に加わりません。

(欠員1名)

無病息災を願う！どんと焼き

文化財の管理は

倉澤 治貴



教育長 維持・守り・継承
していきます。

文化財について

問 町内の各文化財や郷土資料の管理についての現状と今後の活用及び保護についての考え方は。

教育長 文化財とは、文化財保護法第二条第一項に掲げる有形・無形文化財、民俗資料、記念物をいい、町では現在40件の登録があります。指定する場合は、所有者及び権限に基づく占有者の同意を得て町文化財保護審議会の意見を聞くことになっていきます。現在指定されているものは、合併の際に引継いだものです。毎年審議委員が巡回調査し現状の把握に努めています。教育委員会としても、文化財の維持・守り・継承していくため研究してまいります。

問 旧八千穂中を郷土資料の管理・保管場所としているが、洪水による危険性と対策は。また高台にある旧西小を資料館とする考えは。

生涯学習課長 旧西小は、民間事業者への売却が計画されていたため、旧八千穂中を文化財の拠点とし、収集を進めてきました。災害という大きな課題をいかにクリアできるか研究していきます。旧西小を資料館とするかについては、町との協議の中で考えてまいります。旧八千穂中に収蔵しているものについては見学会を行っており、古文書等の教室も開催しています。

問 今注目を集めている日本一の上北沢の石棒について、風化損傷が懸念されているが、指定文化財としている町の対応は。

生涯学習課長 文化遺産、考古遺産としてアピールし、管理、保存については、専門家の意見を聞きながら審議会で検討してまいります。



北沢の大石棒

公共施設の運用計画について

問 公共施設等総合管理計画について、町はどのように実施、

運用していくのか。具体的遂行こそが空き家問題などを解決する規範となると考えるが。

町長 現在作成中の公共施設個別施設等計画に沿い、示された方向性に基づいて実施していきます。統合・廃止については、住民の皆様への周知や説明会を開催し、理解を得て進めていきます。また特別措置法の改正により、特定空き家に対し、措置の指導・勧告・命令が行え、行政代執行の道も開かれました。町としても空き家対策協議会を発足し、検討していきます。

問 佐久穂町は南佐久地域の中心として公益的施設を誘致すべきと考えるが。

町長 町内の四駐在所を統合し、二四時間、三六五日体制の交番を庁舎近くにつくることを進めているところです。

大日向の歴史伝承館 建設は

倉澤 陽一



町長 住民総意ならどんな支援ができるか考えてまいります。

問 満洲分村移民の歴史を中心とした大日向の歴史を伝える（仮称）歴史伝承館を建てることに町長の考えは。

町長 裸同然で帰国し、再度軽井沢などに入植した人が大半であり、体験をつぶさに語れる人もほとんどいません。複雑な感情や人権意識、歴史認識に関わる問題と考えれば、安易に観光や地域おこしにつなげるべきでないと考えます。しかし地域の皆さんの総意により、設置し維持されるのであれば、町としてどんな支援ができるか考えてまいる所存です。

教育長 佐久穂町の歴史を後世に伝えていくことは大日向村の歴史伝承も含め、大変重要なことであると認識しています。

問 教育委員会として一緒にできる事はあるか。

生涯学習課長 歴史を認証するという意味で、後世に伝えることが必要だという認識は持っております。満洲移民の歴史年表、その看板を作るということは、支援策の一つではないかと考えています。

問 大日向小学校前の道路に挟まれている国有地、町へ移管の予定は。

町長 台風19号災害の復旧工事を優先すべき状況と推測される中で、譲与



に時間を要するのではと危惧されます。令和2年度末までに行われるよう、県にお願いしているところです。

建設課長 土地名義が建設省になっていることで有効活用ができてない状況を県が把握し、町名義に変えてはと提案がありました。現在公衆用道路11筆について譲与の申請をしています。

問 建設予定地の利用は承認してもらえるか。

町長 地域の独自の取り組みが公共性のある事業であれば、協力していきたいと考えております。具体的な計画を申請いただき他の町有地利用申請と同じく審査等を行い、貸付けなどの事務手続きを進めてまいります。

私の願い

忘れ去られてしまう歴史もあります。忘れてはいけない歴史があります。大日向の満洲分村移民という大変大きな問題は、後世に語り継がなければいけない歴史だと私は考えております。（仮称）歴史伝承館に行けば大日向の歴史がひと目でわかる、そんな場所を大日向に是非造りたいと思います。

これまで重点的に実施して来た 農業振興策は

出浦 修身



町長 重点的に農業の担い手育成支援と有害鳥獣被害の防止を実施してきました。

問 まち全体の約1/3の世帯が従事する農業の振興は重要な産業振興策である。これまでの重点的な農業振興策は。

町長 第2次総合計画では、農業振興策として5つの政策を掲げていますが特に、農業の担い手育成支援と、有害鳥獣被害の防止策を重点的に実施してきました。また、農産物の特産化を図る事も重要と考え、ひすい蕎麦の栽培推進やブルーン「オータムキュート」のブランド化も推進してきました。

問 平成25年度以降の町の予算推移を見ると、商工一般経費と林業振興費は維持または増加しているが、農業振興一般経費と観光一般経費は減少している。特に農業振興一般経費では、一般委託費、補助金、交付金が減っている。なぜ減少したのか。

産業振興課長 最も大きいのは農業次世代人材育成事業の応募者の減少による交付金が減少し、補助金では活動団体の活動減少により、補助金が減少しました。

問 新規就農者の応募はなぜ減少したのか。

産業振興課長 わが町はいち早く「人・



ブランドブルーンのオータムキュート

町長 第2次

問 かつて実施していた「匠の技伝承事業」のその後は。

産業振興課長 平成27年まで実施しましたが、その後は指導者が見つからず休止中です。今後実施の努力をします。

意見 新規就農を促進するためには、技術研修体制や自立化支援の強化などの、競争に勝ち抜く努力をお願いします。

問 新規就農以外にも移住者を含め退職者や女性など中高年者の農業参入も推進すべきでは。

産業振興課長 農業への参入では、認定農業者に登録すると融資や町の支援もしやすく、ご相談をお願いします。

意見 野菜や果樹の宅配やネット販売の農家が全国的に増えています。生産面に加え、ネット販売などのセミナーや技術研修などの支援もお願いします。

問 産業振興の中で、観光振興をどの様に位置付け推進するか。

町長 観光への期待は大きく、町の産業振興の大きな柱の一つと考えています。来町者の町内消費を増やしたり、外国人観光客の受け入れ態勢整備など、町内観光業の活性化に努めます。

LGBT教育は

石井 正行



教育長 全領域の教育活動に位置づけています。

LGBTについて

問 LGBTの教育や研修等について。

町長 町では、佐久穂町人権のまちづくり計画に基づき、人権擁護の確立として身近な生活の中にも人権に関わる問題が存在していることを認識しています。国が作成したパンフレット等を利用しながら、LGBTへの

対応や配慮については、学習会・研修会を通じて人権尊重や差別解消の立場に立ったモデルある啓発に努めているところです。

教育長 人権教育は、LGBTも含んでおり、教科道徳特別活動などの全領域の教育活動に位置づけ、自尊感情を育むとともに、一人ひとりが互いの人格を尊重し合い、他者理解を深め、誰とでも公正公平に仲よく助け

合えるという姿勢を大事にして育てております。

問 同性パートナーシップ制度について。

住民税務課長 制度を導入することでパートナーシップ証明を受けた方に対してどのような行政サービスを提供できるかメリット・デメリットそれぞれ課題も多く、証明制度を取り巻く状況は日々変わってきております。今後社会情勢や国の法律改正、近隣市町村の状況を注意深く見据えていかなければならないと考えております。



法務省人権擁護局
LGBTについて

高齢者福祉について

問 現状と今後の取り組み（介護支援策）は。

健康福祉課長 介護サービス事業者と協力しながら、使いやすい良質なサービスを多く準備し、要介護者やケアマネが選択できるような環境づくりに努めていきたいと思っております。

問 高齢者施設、種類とその床数、情報周知については。

健康福祉課長 町内にある介護施設の定員は、特別養護老人ホーム佐久穂愛の郷が70床、老人保健施設さやかは58床、認知症対応型グループホームの佐久穂町愛の郷は18床となっております。特養愛の郷の構成ですが、従来型が40床とユニット型が30床となっております。町民の皆さんの介護保険制度の認知度はか

なり高くなっていると考えております。

問 孤立死防止対策の取り組みは。

町長 町民の生活を支えるセーフィネットを担う機関として、町民の声、町民の困り感などにアンテナを高くし、福祉事業や地域づくり事業などの各種施策を手段として、町民が安心して最後まで住み慣れた地域で暮らせるように、これからも努めてまいります。



老人保健施設 さやか

道の駅の計画は

どうなっているのか



町長 国・県との協議を通じ施設一体型の方向で計画中です。

（仮称）道の駅について

問 地域振興に繋がる道の駅を期待するが、道の駅用地造成後の計画がなかなか町民に公表されないため、「道の駅はどんなっているのか、いつできるのか」の声があるが。

町長 計画の遅れは、台風19号災害、新型コロナウイルス感染症によりです。



（仮称）道の駅建設予定地

国土交通省の道の駅コンセプトは、道路利用者に快適な休憩と多様で質の高いサービスを提供する施設で、基本として、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能を備える施設とされています。

求められる要件をしっかりと満たさなければなりません。その道の駅も単独型でなく、一体型として整備することが前提であり、道路管理者から計画を認めてもらわなければなりません。

総合政策課長 道の駅の基本方針は、地域コミュニティを横断的に支える基盤として、子育てや災害機能を強化した道の駅を整備します。また、南佐久の玄関口として地域振興という視点に加え、地域の防災機能を担うものにしたと考えています。そのほか大石川を活用し親水公園的な機能も実現したい一つです。

農産物直売所の設置には、供給者、生産者の協力、育成及び販売品の通年確保が大きな課題です。商業施設は民間活力

を期待する方向で進めています。

問 管理運営についてはどのように。

総合政策課長 指定管理制度の採用が最適と考えますが、各機能施設の管理運営を一体化し、効率化を図ります。

問 今後のスケジュールは。

総合政策課長 最短で令和3年度に基本設計、令和4年度に詳細設計を行い、令和5年度から建設、令和5年度末から令和6年度には開業できるよう考えています。

女性職員の活躍推進について

問 女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の取り組み状況と目的に対する達成状況は。

町長 少子・高齢化により生産年齢人口の減少は明らかで、社会経済の活力を維持して行くためには、潜在力が最もあるといわれる女性の職場での活躍と、出産や子育て等の家庭生活との両立が大切となります。働き方改革とあわせて、女性の職場での活躍を推進していきます。

総務課長 女性の管理的地位、係長相当職以上の職員数は増加しており、目標を達成しています。離職者についても現時点で目標数値は達成されており、職場環境そのものに支障があり離職された職員はいないと理解しています。

現計画は今年度が最終ですが、これまでの達成状況を踏まえながら令和3年度からの計画を策定して参ります。

都市計画

問 用途地域指定のない町の都市計画において、これを行うのと抱き合わせて問題の多い建築基準法42条2項道路の見直しを行う考えは。

総合政策課長 2項道路については指定道路図の訂正で対応ができる可能性があります。用途地域は現行の基礎調査の結果を比較した上で来年度以降の指定検討となります。

建設業支援

問 災害時対応を考え、建設業の雇用維持や経営安定のために建設工事の長期的ビジョンを明確にできないか。

建設課長 国土強靱化計画の地域計画の策定を現在進めているところです。この計画の策定により、掲載された事業について優先的に国の予算が交付されるほか、今後は国土強靱化計画の地域計画が交付金の要件化される可能性もあります。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊は庁舎内ではなく、外部に設置すべきではないか。

総合政策課長 新任用の隊員は地域内での活動を主に進めることを考えているので、庁舎外に拠点を設けるこ



役場内の地域おこし協力隊のデスク

終わってひと言 賛賛化傾向にある町議会において、行政と対峙する自らの役割に限界を感じた8年です。これから世代に期待します。

行政区の見直しを考える

時期ではないか

高見澤 春野



町長 区の見方や考えを尊重していきます。

行政区の適正化と地域コミュニティ

問 58ある行政区の戸数に大きな偏りがあるので見直しを考える時期ではないか？

町長 合併して16年を迎える中で、各行政区の戸数の偏りにより、区の運営に大きな支障が出ているとすれば見直す必要はあると考えています。あくまでも

運営に支障が生じている区について、見直す場合には町の主導ではなく、区の見方や考えを尊重して進めていきます。

問 2戸や5戸で成り立つのか、今から対応する必要があるのでは？

総務課長 区から話があれば町と一緒に隣接の区とともに考えていきます。

問 区からの声がなくても町からの声かけが大事ではないか？

総務課長 6月に全区長さんにアンケートを実施した中では戸数の現状などの困り事はありませんでした。

今後実施する集落点検で話をしながらいろいろ対応できたと考えています。

問 行政区と常会の戸数の適正数をどう考えるか？

町長 歴史的位置や地形的要件、住民のつながりなど地域の実情により現在の常会や戸数があるので、区や常会の適正数を述べることは今のところ考えていません。

コミュニティ創生戦略の今後は

(基本目標1・地域コミュニティの項目)

問 第2期の佐久穂町コミュニティ創生戦略が始まったが1期を終えるの課題に対して、今後どのように進めていくのか。

総務政策課長 新区長へのアンケートで多く上げられていたのが区長の役割、働き方です。それに対応する事業はまず、集落の現状を知り、集落点検を引き続き行います。区長や役員の方の学習会の継続、地域の力持ちの方に力をお借りした集落運営も考えています。

問 コロナ禍で内容修正の検討は？

総務政策課長 事態の推移を見守りながら随時修正をはかりたいと思います。

区長や常会長さんの仕事を必要かつ最小限に抑えられないか、できる限り見直して負担軽減をまず考えていきたいと思っています。

問 区長の受け持つ内容が多過ぎるのではないか。

町長 今後の集落運営は区長1人に任せるのではなく、役員も区民も一緒に参画できる姿が求められていると思います。

総務課長 アンケートでの前向きな意見は町をよくするというものです。町も同じ方向に向いていますので、バックアップできるものは一緒に関わりを持って進めていきたいと思っています。



集落点検もWeb会議を活用

住みやすい町づくりを

須田 良子



町長 何が適切な行政サービスなのか、しっかりと考えていきます。

問 移住・定住対策として、小海町で取り組んでいる雇用定住促進助成事業は、若者を対象とした取り組みで、町外に居住していた人たちが早めに地元、親元に帰る呼び水になるのではないかと、コロナ禍であり、生活スタイル、仕事の仕方も変わり、都会でなく田舎暮らしを見直し、検討するきっかけになるのではないかと。当町でも参考にし、独自の施策として取り組めないか。

町長 雇用定住促進助成事業は、小海町が行っている就職等により小海町内に定住された方に5年間、町内限定の商品券1万円を毎月支給し、雇用と定住の促進をはかる事業と承知しています。

問 大日向小学校の皆さんは、半分、それ以上の方が佐久市に住み、通っていると聞きとても残念で、町内にいい物件がないからと考える。早急に佐久穂町に住みたいという要望に応える施策に取り組みむべきと思うがどう考えるか。地域おこし協力隊の移住定住の取り組みの成果と課題は。

町長 大日向小学校に関する移住希望者は、主に就学目的で来られますので、就学期間が終われば、その先はわからないと思う方が多いと思われます。しかし、それ以外でもぞつした傾向があるということ



地域おこし協力隊の移住政策のひとつ

です。それは、その地域に特別な思い入れがあるわけではなく、気に入ればどこでもよいとする考えです。これは逆に気に入れば自宅を建てても居住してくれるという考えだということです。そうした人たちに、来てよかった、住んでよかったと感じてもらえるまちづくりをしていくことが重要と感じています。

総合政策課長 地域おこし協力隊の活動の移住定住に関するものは、移住交流の促進や就業人口の獲得に関する活動、地域活性化に意欲ある外部人材が地域に根付くための支援活動、空き家情報の収集活動が該当するかと思われます。移住の先輩として、様々な不安を抱える移住希望者に気候風土から人間関係に至るまで、実体験を交えて情報やアドバイスを与えることで、なによりも大きな希望と安心感をあたえてこられたと考えています。

問 これから先、大日向中学校も開校となり、ますます賃貸で借りたい人たちが増えるのではないかと。佐久市で家を探すのではなく、佐久穂町に住んでいただくことで定住を考える人たちが増えることを期待する。需要にこたえる対策を急ぐべきではないか。

町長 自治体というのは、地域の人口を維持していくためだけに存在するとは思っていません。その地域に適切な行政サービスを提供するために存在すると考えています。何が適切な行政サービスなのか、皆様の知恵をお借りしながら、しっかりと考えていきたいと思っています。

自然園・花木園の管理体制は

島崎 規子



町長 白駒の池駐車場から八千穂レイクに至る観光施設について、何らかの検討を加えなければと考えます。

八千穂高原の観光施設管理について

問 自然園や花木園の利用者数の減少が著しいようだが、受託者の統一など管理体制の見直しの考えはあるのか。

産業振興課長 両施設とも受託者により適正な施設管理をしています。また利用客への当該施設の案内を含め、八千穂高原全体の観光案内と他の施設利用やリピーターの確保にも寄与できているものと考えています。

町長 花木園の運営に対していろいろな問題があるという話がありますが、白駒の池駐車場から八千穂レイクに至るまでの観光施設について、何らかの検討を加えなければいけないと考えます。

問 花木園併設のマレットゴルフコースについて、今シーズンは営業をしなかったようだが今後はどうするのか。

産業振興課長 今シーズンは新型コロナウイルス対策のため休止させていただきましたが、



自然園

八千穂高原を訪れたファミリー層を含め、幅広い年齢層の皆様が手軽に楽しめる施設として、来年度にはコースを再確認し



花木園

大日向小学校関係者の移住希望者への支援対応は

問 大日向小学校に在籍のご家族の中には、佐久穂町に住みたいという需要は潜在的にあるのに、現在22%の移住実績しかありません。今後どのように支援対応をしていくのか？ 令和4年度には中部も開校の予定の茂来学園に特化した移住支援が必要ではないか。

総合政策課長 今後移住の検討に際しては大日向小学校・役場（地域おこし協力隊）そして新たに結成された在校生の保護者による入学移住応援隊の3つが窓口となり支援をしたいと考えています。

教育長 同じ町にある学校、同じ町で学び子どもたち、同じ小中一貫教育といったところで、子育て支援や交流等できることを前向きに考えていきます。それが結果として、移住・定住への喚起の一助になれば幸いと考えております。

町長 町としても何らかの手段を考えていかなければならないと考えます。

■ 経済福祉 常任委員会

本議会での委員会審議案件は、国家公務員の給与の改定に関する人事院の勧告に準じた、町職員及び町営企業職員の給与改定に関する承認案件4件、町の一般会計及び特別会計の補正予算等の議案5件及び陳情等3件の計11件です。審議は健康福祉課や千曲病院など関係部局の説明を受け、審議の結果は、陳情1件を不採択とした他は全案件を原案通り承認・可決・採択しました。

承認を求める4件の補正予算の内容

上程された4件の承認を求める補正予算は、いずれも国家公務員の給与改定に準じた、町及び町の老人保健施設、千曲病院、佐久穂町簡易水道事業の職員の給与改定に関する予算の補正です。

内容は、上記事業所の職員の本年度の期末手当を0.05か月引き下げるものです。補正予算は12月1日に実施のため、11月30日付けで専決処分された補正予算の承認を求める4つの案件で、全案件が原案通り承認されました。

産業振興課関係では

議案74号の補正予算で産業振興課関係の補正内容の説明・質疑をしました。主な質疑では、

問 林業総務一般経費で有害鳥獣駆除（日本シカ）の駆除報償金として、50万円を増額補正したが、合計の駆除予想頭数は。

答 10月末時点で前年比+55頭の捕獲実績となっており、50頭を追加し本年度の捕獲予想数を1100頭としています。

問 現在、駆除した鹿等の埋設場が台風災害によって使用中止となっているが、そこに通じるための林道大上線の復旧見込は。



左側の沢が崩落した林道大上線

答 林道大上線はいくつもの沢が崩れ被害が甚大であり、本年度1番手前の被災場所の工事を実施しますが、群馬までの全線開通には3～4年掛かる見通しです。

問 本年度に着任した農業関係の地域おこし協力隊員の業務内容は。

答 本年4月に酪農関係の地域おこし協力隊員として石田氏が着任しました。

担当する業務は主に酪農飼料の成分分析や飼料の混合指導などを行っています。また、町内の酪農農家の飼育相談なども行っており、毎月担当の農政係への報告を行っています。

健康福祉課

健康福祉課の関係では、議案74号の一般会計補正予算（補正8号）と、議案76号の介護保険特別会計補正予算（補正第2号）を審議しました。

一般会計の主な補正では老人福祉費で、コロナ禍の影響で町内2か所の介護予防拠点整備事業が取り下げられ、補助金1782万円の減額補正が計上されました。

また、介護保険特別会計の補正では、10月末までの実績に基き、歳入・歳出総額それぞれに1066万8千円を増額する補正が説明されました。主な質疑としては、

問 歳入補正で249万5千円の国庫補助金があり、保険者機能推進交付金と保険者努力支援交付金となっているが、どんな事業が交付対象となるか。

答 保険者機能推進交付金は保険者の全体の取組みを評価するもので、地域包括支援機能や医療連携の取り組みなどです。

保険者努力支援交付金は、介護予防の取り組みや健康づくりの実績が評価されます。

千曲病院

コロナ禍により外来及び入院収入が減少している町立千曲病院の病院事業特別会計では、収入減少に伴い病院事業収益を9375万円減額し、特別減収対策企業債（借り入れ）を9299万4千円増額する補正予算が説明され、原案通り可決すべきものとなりました。

また、休診していた整形外科の月曜日、水曜日午前の医師体制が整い、1月4日から全週日受診できることとなりました。

その他

2件の陳情があり審議の結果、長野県建築士事務所協会からの「最低価格の設定」に関する陳情は、賛成者が無く不採択となりました。

委員会活動から ～委員会審査～

■ 総務文教 常任委員会

承認案5件、議案8件、発議1件が付託され、全案件承認、可決されました。

総額1億2200万円を追加する本年度一般会計補正予算案は、ネット上のサービスに係る費用の3万3000円を削除し、予備費に充てる修正案が可決されました。

○ 佐久穂町議会議員及び佐久穂町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

総務課

問 供託金、選挙用自動車の借り入れ契約、ピラは。

答 供託金15万円であり、選挙用自動車の付属品は公費負担の対象とはなりません。ピラはA4が基準で2種類までです。

○ 令和2年度一般会計補正予算

総務課

問 いらなくなった書類の処分方法は。

答 イメージとすれば大きな洗濯機のようなものでぐるぐる回すようにして、溶解処理しています。

問 通信運搬費のメールなどの電子化を進める取り組みの検討は。

答 まだ実際はしていませんが、これからペーパーレス化を進めていかなければいけないと考え検討をしています。

住民税務課

問 台風19号災害廃棄物処理事業費が減額となる要因は。

答 国のガイドラインを参考にしているため、減額となりました。

こども課

問 非常用発電設備の規模は。

答 小中学校全体を賄うのに必要な電力量の約3割を供給できる容量を計画しています。小中学校の体育館、トイレ・廊下など公共部分の利用を見込んでいます。



佐久穂中学校体育館

■ 海瀬保育園外壁の塗装工事についての委員の評価。

職員で工事費の積算ができたことは評価できる。小規模な工事に関してはできるだけその方向で。



工事の行われた外壁

総合政策課

問 報償費の官民連携プラットフォームとは。

答 第2期コミュニティ創生戦略を進めるにあたり、「公民連携プラットフォーム」という、住民や団体をはじめ、様々なコミュニティがお互いを知り、つながる場を設けたいと考えています。

このプラットフォームは、イベント、インターネットを利用したテレビ会議など、いろいろな方法でコミュニティをネットワーク化する仕組みを考えており、新たな活動や発展の基盤となることをめざしています。

この予算案は、委員より修正案が提出され、討論、採決の結果、全員賛成で修正可決すべきものと決定しました。

修正理由は、令和2年度一般会計歳出予算のうち、2款総務費、企画財政一般経費に計上された使用料3万3千円について、使用を予定しているソフトウェアの権利関係の確認が不十分であると判断したためです。（P2を参照）

○ 発議第9号 佐久穂町奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について

「条例改正までは必要ない。」「趣旨には反対でないが、もう少し時間をかけ審議した方がよい」などの意見が出され、継続審査の提案もありましたが、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。（P2を参照）



「佐久穂小学校児童会」

シトラスリボンに込めた『輪を大切にしたい』の想い

佐久穂小学校 児童会

児童会長 **佐々木 まどか** さん
副会長 **相馬 稟士** (りんと) さん
副会長 **細萱 好美** (このみ) さん

がんばる
さくほの
チヨ-民



昨年2月に佐久穂小学校児童会運営を引き継ぎ、このコロナ禍で6年生を送る会、1年生を迎える会、音楽会など行事が軒並み中止となる中、「児童会として何ができるか」を模索していた時で、地域・家庭・学校を示す3つの輪『シトラスリボンプロジェクト』を知り、「ただいま」「おかえり」って言い合える人の輪を広める活動を、運動会開催を機に取り組んでいる児童会役員3人にお話を伺いました。

■シトラスリボンプロジェクトを知るきっかけと製作過程は？



全員 最初は児童会顧問の先生に教えてもらいました。児童会の中でこのシトラスリボンの3つの輪の趣旨と児童会テーマの「輪を大切にしたい！」の想いがマッチして、運動会に来てくれるおうちの方の分を作ろうということになりました。まずシトラスリボンの紹介とチラシを作製して、校内テレビ放送で全校に説明。3年生から6年生までと先生方にもお手伝いいただき、全部で800コくらい作りました。そして各家庭にお手紙を添えて2コを配り、運動会で付けてもらうことにしました。残りは紹介ポスターと一緒に千曲病院等に中学生徒会がまとめて届けてくださいました。小学3年生にはかなり難しかったみたいです。でも頑張ったって作ってくれました。



■卒業が迫っているがどんな卒業式を望んでいる？

佐々木 卒業できればどんな型でもいいと思います。
相馬 多くなくても、普通におうちの人来てもらって卒業できればいいです。
細萱 できればおうちの人に来てもらって、姿を見てほしいけど、コロナ禍なので校長室でやるのも仕方ないと思います。

■中学生になって楽しみにしていることは？

細萱 部活。美術部に入って絵を描きたいです。
相馬 まだどこに入部するかは決まっていけど、部活が楽しみです。
佐々木 部活です。バレーか吹奏楽に入りたいです。

■将来やりたいことは決まってる？

細萱 アニメの映画監督になりたいです。
佐々木 医療か福祉関係の仕事に就きたいです。

相馬 まだありません。でも一生懸命仕事をする大人になりたいです。

■放課後は家に帰って何をしています？

相馬 宿題やった後に友達と近くの山に行って外遊び。
佐々木 宿題、ピアノの練習、お手伝い。あとは読書を読みます。
細萱 主に小説や漫画を読んでいます。私の今おススメの本は「鋼の錬金術師」「トキョーグール」です。

■町民の皆さんに伝えたいことは？

佐々木 コロナウイルスがまだ収まっていけないので、差別や偏見がずっとないままでいてほしいです。
相馬 誰かが感染しても、偏見や差別をしない町であってほしいです。
細萱 シトラスリボンの願いのよう、に、地域・家庭・学校や職場で「おかえりーただいまー」がいえて、仮に感染者が近くにいっても温かく見守れるような町になってほしいです。

■この佐久穂小学校がどんな学校になってほしい？

佐々木 掃除をしつかりやって校舎がいつもきれいで、笑顔があふれていて、安全で安心な学校であってほしいです。
相馬 みんな仲良く、笑顔があふれていて、誰かの悪口を言ったりしない学校であってほしいです。
細萱 学校は続いていくので、今



千曲病院に置いてあるシトラスリボン

顧問の小畑先生からひと言

マスクの生活。いろいろな行事がカット。本当に大変でしたが、子どもたちがめげずに、こういふもんだと前を向いて、どうしたら全校のみんな喜んでくれるか。いろんな案を考えてくれたので、私たち大人も助けられた1年でした。(聞き手・島崎 規子)

◆編集後記◆

昨年はコロナ禍に翻弄された1年でした。ワクチン接種が始まっても、ウィズコロナの時代が続くと思われまふ。

町も議会も住民も、感染予防対策を守り、経済活動と健康増進を牛の歩みの様に、ゆっくりしっかりと前に進め、明るく住みやすい町づくりを進めましょう。本年も宜しくお願い致します。

広報編集調査特別委員会 出浦 修身

次回3月定例会は3月4日(木)より18日(木)までを予定しています。